

蓬平温泉

蓬平町の天然温泉は、1390年に高龍神社が建立されて初めて目立つようになりました。神社への訪問者が時々近隣の温泉を訪れることもありましたが、地元の住民もまた、長く大変な1日を過ごした後、この風呂を訪れました。

明治時代（1868～1912）の初め、1869年にこの地域初の温泉旅館、蓬平温泉は開業しました。これは、国全体で大きな激動と近代化の時代でした。しかし、近隣のコミュニティを超えて旅館が知られるようになったのは、この地域と長岡を結ぶ道路が最初に作られた1965年のことでした。

日本の各温泉の水は、ミネラル組成が少しずつ異なります。そのため、意図される効果は場所によって異なります。蓬平温泉の水は、肌の状態を改善・維持すると言われていました。支持者はまた、ストレスや緊張を和らげると信じています。

もちろん、温泉は温泉街で味わう体験のほんの一部です。他のいくつかの地元のハイライトとしては以下のようなものがあります；

高龍神社

この神社は、ホテルや旅館が建設されるずっと前からここにあり、コミュニティの中心となっています。この神社とその仲間である妙龍神社の両方を訪れることをお勧めします。

神社までの階段とエレベーターに近づくと、小さなお店に気付くかもしれません。高龍神社に入る前に、このお店で卵と地酒の小瓶をお供えとして買うのが通例です。供物は神社の龍神に贈られます。地元の神話によると、卵と日本酒は神の好きな食べ物と飲み物です。

世界中の多くの文化では、誰かの家を訪問するときに贈り物を持っていくことを習慣として指示しています。これと同じ習慣が神社の神にも当てはまります。

高龍神社は高台にあり、周辺を一望できます。

竹之高地不動滝

高龍神社の裏手にある傾斜した道を少し歩くと、竹之高地不動の滝があります。この地元のスポットは、その自然の美しさで有名です。標高約10メートルから、水が下の盆地に流れ落ち、平和と静けさを背景にしています。

滝は、その周りにあるすべての集落や神社よりも古いものです。何世紀にもわたって学者や*聖人にインスピレーションを与えてきたと言われていました。

妙龍神社

主な温泉地から西へ車で 10 分ほど行ったところにある神社です。高龍神社と同じように高い位置にあり、長い石段が続いていました。しかし、しかし、最近になって道路拡張のため現在の場所に移転してきました。見慣れた赤い鳥居が入口を示しています。

妙龍神社は高龍神社ほど知られていません。しかも小さくて遠く離れているにもかかわらず、それはコミュニティの生活にとって高龍神社と同じだけ重要な部分です。これらの神社と元々この地域に惹かれた巡礼者がいなければ、蓬平には温泉街はありませんでした。

温泉、神社、温かいおもてなしで、この丘の中腹のオアシス全体を体験してください。蓬平温泉街は長岡駅から車で約 20 分で訪れることができます。